

JAITI 38

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 財団法人 日本農業研修場協力団
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

ジャイチのネパール事業のうち、二〇一二年のレカリ・パシファント学校の地元への移管、自立への道筋が、ジャイチネパールのスタッフの尽力により目鼻が付き、次のステップに入ろうとしています。

◆農業指導においては、ジャイチネパール社長からの提案で、ムスタン郡地域への調査に一昨年より入っています。

◆ネパールのインフレ
ネパールでは、例年では



▲12月4日、エベレストの麓、カラパタール(5545m)で、閣僚会議が行われた。この会議は、来週コペンハーゲンで行われる地球温暖化会議にむけてのものでした。

The Cabinet meeting was performed by December 4, the foot in Everest, and Kalapattar Plateau (5545m). This meeting was a thing towards the global warming meeting held in Copenhagen next week.

多くの人々の「愛と和の心」がいのちの泉となつて、ジャイチの活動は昨年三月で満二十年、成人を迎える事が出来ました。

ジャイチは、発案者菊池健介さんの「志」に小林榮さんが物心に亘り共感し、日本、ネパール内外の多くの理解協力者、ボランティアの人々が共に力を合わせ「愛と和の心」を「志」を形にした活動です。日本と日本人の「心と魂」である人と人、人と自然歴史文化、風土の命のつながり、「愛と和の心」の発祥の地と言えるネパールに、恩返ししようとした活動と私

は確信しております。

世界の経済社会が金儲けに支配され、人と自然、全ての「いのちのつながり」が、どんどん切れてしまう方向に向っている昨今の日本と、地球社会の状況を二十年以上、前から予感しての行動でした。現地の人々を助け、応援するジャイチの活動は、ネパールの大自然のいのちのつながりに、暖かく見守られながらの活動でした。

活動は、逆にその都度、人類が地球で生きる為の大切なルール、地球基準に気付けてくれました。それは、日本を始め、殆どの先進文明国が失ってしまった

島田基正氏は、財団設立に助力し、設立と共に、副理事長を就任し、現在に至る

ジャイチ二十一年目によせて

副理事長 島田基正

人と人、人と自然との尊い「愛と和」の絆「生命のつながり」でした。

多くの皆様のご支援のおかげでジャイチのネパールへの支援活動は、二十周年を契機に日本と日本人の「愛と和の心と魂」の再生のための活動でもある事を、あらためて確信しております。

ジャイチの活動が、ネパールの人と自然の健康を保つ事につながり、そのいのちのつながりに感謝して、人と地球が共生する地球社会の新しい方向に、少しでも貢献できるよう、引き続きのご協力、ご支援を宜しくお願いします。

モンsoon(雨期)は、五月下旬より始まりませんが、世界的な異常気候の影響か、今年は二ヶ月も遅い七月二十六日に始まりました。その為、干ばつによる農作物の被害が大きく、またインド国境のタライ平原では、マオイスト等による度重なるバンダ(ストライキ)の影響で、物資が不足し、インフレーションが加速し、物価が前年比二十五%以上値上りしました。ジャイチ

としても人件費その他様々な費用に対し、見直しを迫られています。

◆理事会・評議員会
一昨年十二月一日より施行された公益法人法を受け、定款その他必要事項の決議のため、八月八日に理事会・評議員会を開催し、必要事項の議決を行いました。

◆農業支援
本年九月に、土屋興重農業指導員をJAICAFの資金援助を受け、パシファ

ント地区(ナムター村)、カカニ地区に派遣しました(三頁)

◆スタディツアー
昨年のスタディツアーは、ネパールの政情不安により、中止させて頂きました。

◆新公益法人
昨年十一月二十日に内閣府に移行認定申請を行いました。審査には、最短九十一日から最長二百日を要すると聞いております。



▲ブライター学校のスクールバス
先生・保護者で資金を集め購入した。運転手さんは学校のスタッフ。

Kakani Brighter School's School Bus.
This bus was procured by the fund raised by school teachers and staffs. The bus driver is one of the staffs of the school.

レカリバシファント学校と カカニブライター学校の今後の道筋

◆レカリバシファン ト学校

二年後、J A I T Iからの助成終了後の学校の運営について、道筋が見えてきました。一昨年の地元学校「レカリ小学校」との合併は、学校運営の長期に渡る継続の為、当を得た内容となりました。合併後、郡教育局は、学校の支援を開始しました。教師の給料の助成(作年度は四名)は、今年度は九名の教師の給料に対し助成を受けました。教師の給料に加えて、政府は、指定低カースト(ダリット)および少女用奨学金及

び文房具類の資金、運営費と管理費、小学校および七年生までの無償の教科書代を助成しました。政府は、上記の費用として一四〇万円を地元の学校運営委員会に直接、今年度中に資金を提供する予定です。これを機に学校運営委員会は、経済的に苦しい保護者のために、学生の授業料を軽減させるつもりです。公立後、学校運営委員会は、寄贈を受けたスクールバスを寄附により運営しています。

二〇〇三年より学校運営委員会へ一学年毎、移管された運営費捻出の方法は、学生の数への依存によりまじりましたが、今後は地元への負担も少なくなる方向性が、明確になってきました。数年後、J A I T Iからのサポートは終了しますが、ジャ

イチの名は、学校の歴史と共に、将来に渡って記憶されると確信しております。

◆カカニブライター学校

カカニブライター学校では、J A I T Iの案内と指示に従い、教師自らが学校収入を増やし、経営参加するという意識を持つという、とても喜ばしい状況が生じています。今年から、授業料収入等により全ての学校運営の費用を捻出することになると思われます。今後、J A I T Iの支援は、次のステップのため、設備投資と教材のための資金に対して助成することが必要と思われま

す。現在、カカニ地区の近くの学校では、スクールバスを備えるところが多く、生徒の確保、増員に寄与しており、昨年四月、教師自らが、基金を作り、学生の通学用の中古のスクールバスを購入しました。不足金が生じましたが、今後予算化の中で賄うこととなります。当校でも必要と判断し、急ぎよ、購入するに至ったものです。バスの入手後、学生の数は、かなり増加しました。昨年学生の数は二〇七名でしたが、現在二五〇名となりました。学校収入は、現在の先生の給料と他の管理コストをカバー出来ると考

ジャイチの思い出

マン、バハドゥール、シュレスタ

私は一九九五年九月から二〇〇八年十一月までジャイチネパールの事務局長として約十二年間勤務しました。私がジャイチに勤め始めた頃、カカニ農場では松浦さんが様々な作物を研究試作後、日本の品種のイチゴ、キウイフルーツとさつまいもを現地の農家へ普及をしていました。ナムター村では、バシファント学校で三年生までの子供たちが通っていました。

バシファント学校開校時(一九九三年)現地の村人が自分の子供を学校へ通わせることに反対して、最初の一年生を三十人ぐらい集めるのが大変だったと聞い



▲ブライター学校の文化スポーツ祭
近隣の中等学校の生徒たちの空手の演武
The cultural and sports festival of Kakani Brighter School.
The empty handed military exercise of neighboring middle school students.
There were various announcements in cultural festival and sport festival was a unique one.

イチゴの栽培をし、販売して見せた後、少しずつ彼らは関心をよせ、現在では、この地域全体がイチゴ村の名前で有名になっています。こ

の学校もまもなく自立出来ると思われま

現在、ジャイチはネパールのムスタン地方のツクチェ地域に農業開発を始めようとして

えられます。今後は、地元の要望として、中学校(八年制)までの学校へ、現在の施設に二クラス

の増設を希望しています。ジャイチネパールとしてあらたな資金を必要としています。(ビム・ラル・グルン)

ネパールの農業報告

(六・七・九月)

昨年六・七月に当団として、九月には社団法人国際農林業協働協会のご支援をいただきネパールへ行ってきました。近況をご報告します。

◆カカニ、オカルパウワ、チトレ、クレ村のイチゴ春・秋とも全村で指導会と巡回指導を実施しました。先進農家に依頼しておいた新種苗の増殖は順調で更新も進み成績も良く喜ばれています。あと二年ほどですべて新しい苗への更新を目指します。

政府も経済性の高さなどに注目し、園芸王国オランダから専門家を招聘しました。六月に一緒に、当団の指導会に参画いただきましたが、呼吸も合い有益でした。(写真)私と同じく年三回程程度の予定とのこと



▲オランダのイチゴ専門家、N・Bリンデリーフ氏と筆者。長年イチゴの試験栽培にたずさわり、退職を機に国際協力に参加

The Strawberry Expert from Netherlands, Mr. N.B.Rinderif and writer, Participated in International Cooperation activities, after retirement from many years of engagement in experimental farming.



▲イチゴ栽培地帯で、3人の若者が花栽培に挑戦。日本で農業にビニールハウスが導入されたのは、約50年前だが、当時を思い出す竹骨製のビニールハウス。

3 young lads of strawberry farming area challenging also the flower cultivation. The green house made of bamboo frame reminds those days of about 50 years ago when there was no pipe frame house disseminated in Japan.

で、これからも合同で指導に取り組むことにしました。国連(UN)も東ネパールのドラカ郡で取り組みを始めた。約二〇年前に当団が導入したイチゴです。大きな広がりを見せています。

◆その他の動き

イチゴのウエイトが大きいいことは、何かおきた時心配でもあります。危険分散の観点から他やさいへの取り組みも進めています。キャベツ・カリフラワー・スイートコーン・大根・人参いろいろな菜類、豆類などです。

新しい動きがあります。ネパールで花というマリールドの花を首飾りのようにつつつたもの(レイ)をお祭りなどに使うという認識でしたが、最近の生活レベルの向上とともに冠婚葬祭用の花の需要が急増し、現在はほとんどインドからの輸入ですが、イチゴ地帯ではバラ・カーネーション・

グラジオラスへの取り組みが始まりました。(写真)イスラエルの花会社も進出し、ネパールの農業も大きく変わるでしょう。

◆ナムター村と周辺村
五年前アブラナ科やさいのネコブ病対策を中心に始まった取り組みですが、JAICAFの支援事業としては最終年度です。

年々指導要望が強まり、取り組み村が増加する一方です。日本の高山の登山道と同じような道路事情の地帯も多く、徒歩での活動となり、限られた日数では指導希望村まで行くことが出来ません。やむを得ず指導地まで来てもらっています。

ネコブ病は日本でも苦慮することの多い難土壤病害です。ネパールの実情を加味しながら諸対策を組み合わせて、だましました栽培する技術を、最終年を意識しながら指導しています。

(農業指導員 土屋興亜)

子ども達の成長の記録映画のDVD完成しました。

松田重箕



一九九三年四月に開校したバシファント学校の一期生の入学式をとにかく撮影しておこうということから始まった記録映画は、十七年という月日が経ちようやく作品として完成しました。十六mmのフィルム、ハイエイト、DVDと、時の流れでカメラも変わりました。最初は、一期生の卒業式(十年)で完成の予定でしたが、諸事情で卒業式は行われず、又、資金の問題もあり約五年の空白が出来てしまいました。こ

の度設立者の小林榮さんよりDVD作成のために資金の提供をいただき、十七年目にして完成することができました。この作品が今後のジャイチの活動に少しでも役にたてば幸いです。

作品の完成のために尽力してくださった小林榮みよ子さん、菊池健介さん、イメージブレイン千原卓司さんに感謝いたします。尚、このDVDは販売という形をとりますが、売上げの一部はジャイチに寄付します。

タイトル
「ネパールの人々とともに」
「ジャイチ、教育と農業で国づくり支援」
1時間59分
¥2,625(消費税、送料込)
販売先: イメージブレン 千原卓司
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-23-8
5F(ニュー石橋ビル)
TEL.03-3523-0777
FAX.03-3555-0776
E-mail:i-brains@gol.com



▲オカルパウワ村に設置された「新しい朝いろいろな目的のための農業協同組合」の看板。事務所はバラックだが、理想は高い。「モデル農村を築こう」と書いてある。仏教徒が多く、祈りの旗タルチョウがはためく。

The signboard of the Agriculture Cooperative Society established in Okharpauwa village with various objectives. The office is a barrack but aim is high to build a model village. The prayer flag are fluttering, Buddhist's majority is high.



▲バルンにて、キャベツの出荷。日本ではダンボール箱の出荷が一般的だが、ネパールでは、高価のため大きなポリ袋を使用している。

Cabbage shipment from Palung village. In the case of Japan, it is common practice to pack in cartoon box but in Nepal they use large polythene bags to reduce the cost in packing.

ご協力有難うございました

2009年6月21日～2009年12月20日迄 順不同敬称略

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

◆ 人的協力

〈埼玉県〉

皆川勇・恵娟

〈東京都〉

安藤雅子、市川薫、株式会社イメージブレイン千

原卓司、片岡忍、桂田道

子、鎌田はなよ、小林み

よ子、小山恵美子、沢澄

節子、滝和美、田山豊實、

野寺温子、松田重篤、与

口千里

〈長野県〉

あーすの会、市川寛夫、

乾みゆ紀、白井千鶴子、

柿島明子、菊池健介、株

式会社北澤土建、有限会

社佐藤新聞店、清水周、

清水卓爾、有限会社大和

印刷、田村香織、田村由

紀子、株式会社ズー、手

塚本衛、根岸厚次・真貴

子、松久よし子、三井芳

郎、宮入正法

〈海外〉

ネパール ホテルサンセツ

トビユー・アルジュン・

シン／絃子・トラチャン、

ウッタム・タパ

◆ 基金・維持費・事業費

〈北海道〉

中川洋子、水口馨・一枝

〈岩手県〉

向井田コウ、八重樫孝・

洋子

〈宮城県〉

森甲志

〈福島県〉

岡村健

〈茨城県〉

青木満子、魚津慶子、折

本拓郎

〈栃木県〉

森聖哉

〈群馬県〉

小坂橋靖幸、阪本明子、

橘真智子、土屋邦夫、堀

越利通

〈埼玉県〉

小沢昭信、小野美津男、

加藤美恵子、斉藤節子、

嶋田信子、須田清、坪田

美恵子、藤井英雄、本庄

東高等学校生徒会

〈千葉県〉

伊藤妙子、専念寺岡本學、

高橋節子、辺見益蔵、吉

田季子、吉村芳江

〈東京都〉

天野進、池田圭伸、株式

会社イメージブレイン千

原卓司、上野シゲ子、宇

野武彦・功子、小川金三

郎、小幡裕、茅邦子、河

野節子、木村慈子、黒田

秀基、グローバルフェスタ、

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。運営されている財源その他について説明を致します。ご協力をお願い申し上げます。

- 1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本的財源の確保**
基金を銀行・国債などで運営し、その果実（利息）でジャイチ活動の基本部分を確保することを目的としています。果樹のようなものです。
・基金が大きくなればなるほど、ジャイチの財源が安定します。
- 2. ジャイチ運営維持費……ジャイチの活動全般の運営維持費**
昨今の金利事情では、日々の活動費を基金から生み出される財源で賄うことができません。そこで今必要な活動に使わせて頂く目的のものです。一年草のように春植えて秋に収穫して終わります。
・当分の間、この維持費はジャイチが活動を維持・継続していくために欠かせない費用です。
- 3. ジャイチ特定事業費……ジャイチの目的別事業費**
新たに大きい費用のかかる事業を計画した時に、その応援費用として確保することを目的としています。
・特定の事業において、資金が必要なときに皆様にお願いのお知らせをさせていただきます。
・現在は育英基金として、ネパール現地の学校の運営費をまかなうための募金を行っております。
ジャイチでは上の3つのような形でご寄附をお願いしております。何にご寄附下さったのか、お教え頂けると幸いです。もしも特にご指定のない場合は、維持費に使わせて頂きますのでご了承下さい。

振込先 番号 { 郵便振替 00510-4-65434
銀行振込 八十二銀行丸子支店(普)420577
口座名 財団法人日本農業研修場協力団
住所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
電話 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

尚、金額に関しては規定がございませんので、お独りお独りご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的な考えは如何でしょうか。)

▲スケッチ.マン



坂井崇浩、佐々木春子、
新海泉、菅田安男、滝和美、
戸梶哲裕、東京市政調査
会中嶋いづみ、成宮博、西
岡巖、西重正博、野村明
賢、堀妙子、正田英子、松
田重篤、安原二郎
〈神奈川県〉
荒木眞一、石井清、石上
昌子、木村素子
〈長野県〉
株式会社アオヤギ印刷、

あーすの会、有限会社う
ずら家そば店徳武敏幸、
内野倉千枝子、内山富之、
大久保千昭、菊池健介、
道子、北山早苗、高本洋
子、国際交流フェスティ
バルin佐久、国際交流
フェスティバルinまるこ、
小林淳、小林展子、小林康、
斉藤諄子、武田順治、塚
田正巳、中澤知史、中島
英男、株式会社長門牧場、

長野県連合青果株式会社、
箱山年子、本田君子、松
川勝三、松林進、松久よ
し子、丸山茂喜、宮澤令
行、宮下静子、民主党長
野県第三区総支部、柳沢
英明、依田保、ジャイチ
事務所寄付金箱
〈新潟県〉
帯瀬憲五、小森修
〈静岡県〉
伊能武夫、石井泰子、

わたしのボランティア

松久よし子

会社を退職して、さて、何かを始めようかと考えていたとき、自宅近隣に事務所がある菊池さんより、ボランティア参加の声がかかりました。
 ジャイチの活動は詳しくは知りませんが、二〇〇二年一月、二十一年のニューズレター発送作業から私のボランティアが始まりました。

会社を退職して、さて、何かを始めようかと考えていたとき、自宅近隣に事務所がある菊池さんより、ボランティア参加の声がかかりました。ジャイチの活動は詳しくは知りませんが、二〇〇二年一月、二十一年のニューズレター発送作業から私のボランティアが始まりました。

でもネパールの人達と何かを共有しているかなと思えることもあります。
 バザーでは、地元の方フェスティバル（上田・佐久市）で売り子として参加し、他の出展団体の活動も垣間見ることが出来ました。
 今は熊のぬいぐるみを作っています。ジャイチ仲間田村さんが熊のぬいぐるみを余り毛糸で作る、バザーにかけたところとても評判が良かったのです。次回バザーにも出そうと仲間数人が早速、田村先生から講習を受け終盤となりました。ネパールの民芸品が目新しくなくなり、売れゆきが減少していることが売り子をしていて実感しているのです、少しでもお役にたてたらと

自宅でも時間のある時に熊づくりにいそしんでいます。ちなみにこの熊は毛糸の太さによりサイズの違ったものになり、仕上がりが楽しみです。
 ネパールの子ども達が今より少しでも良い教育を受け幸せになれるよう、これからも私の出来る範囲で手伝いをさせていただきたいと思っております。
 (長野県上田市)



熊のぬいぐるみ作りの輪は松久さんの知人・友人の皆さんによりさらに広がっています。



◀バザーでのスタッフ。写真左から3人目松久さん。その右田村さん
 Volunteer Miss Matsuhisa Yoshiko (3rd from left). She started cooperating JAITI from dispatching working of News Letters of the year 2002. She makes teddy bears from left-over wools and sends to JAITI's bazaar. She wants to continue her cooperation in future too.

- 藤巻禧四郎、宮崎哲至・恵
- 〈愛知県〉
- 伊藤正裕、尾上昇、神田孝子、畔柳茂樹、丹羽千春、藤原純子、本庄周子、株式会社八神製作所
- 〈滋賀県〉
- 岡田千尋
- 〈京都府〉
- 京都山科西野郵便局
- 〈大阪府〉
- 佐味瑤子
- 〈兵庫県〉
- 玉岡昇治

- 〈山口県〉
- 医療法人おのおの小児矯正 歯科理事長大野秀夫
- 〈香川県〉
- 宮下裕
- 〈福岡県〉
- 山下きよし
- 〈沖縄県〉
- 小野啓子
- ・ジャイチネパールへ
- 直接
- 滝和美

◆寄付品

- 〈岩手県〉
- 笠原直枝、藤井定子
- 〈茨城県〉
- 三英堂ビジネス株式会社
- 柳沼義夫
- 〈埼玉県〉
- 嶋田信子、馬場友子、皆川勇・恵娟、横田隆
- 〈群馬県〉
- 井田智江、阪本明子
- 〈東京都〉
- 市川薫、株式会社イメー

- ジブレーン千原卓司、親子読書地域文庫全国連絡会、棧康子、小林榮、桜井圭子、佐瀬萬亀、滝和美、心健導場天明、株式会社新田工務店、舟波幸子、村上祥子、山田まゆみ
- 〈神奈川県〉
- 川口朗子、鈴木規子
- 〈長野県〉
- あーすの会、白井千鶴子、内野倉千枝子、有限会社美ヶ原燃料、菊池健介、

- 高本洋子、有限会社大和印刷、田村由紀子、樋口種苗、舟木公栄、堀邦昌、松本筑摩東郵便局、依田窪南部中学校ボランティア委員会
- 〈愛知県〉
- 滝本美恵子、松本潤子
- 〈京都府〉
- 京都山科西野郵便局
- 〈兵庫県〉
- 丸尾信
- 〈佐賀県〉
- 苗村義和

- 〈海外〉
- ・台湾 台湾パッチワークグループ
- ・ジャイチネパールへ直接寄付 北口宏樹、小蘭四男、品川潤子、滝和美、三上真紀
- ありがとうございます
- た。
- これからも宜しくお願いします。

事務局だより

▼ジャイチ

- 7月
 - ・機関紙37号を発送(約1400通)
 - ・新公益法人の最初の評議員の選任に関する定めの申請が長野県より認可される
 - ・国際交流フェスティバル in Maruko 実行委員会に出席
 - 8月
 - ・8日理事・評議員会開催 新公益法人移行に伴う定款変更・評議員選定委員の選任など
 - ・国際農業協働協会に21年度専門家派遣事業申請書を提出
 - ・22日理事会開催 役員・評議員候補推薦
 - ・国際交流フェスティバル in Maruko 実行委員会に出席
 - ・29日最初の評議員選定委員会開催8名の評議員を選任
 - 9月
 - ・国際農業協働協会の21年度専門家派遣事業支援決定
 - ・島田常務理事が総合指導でネパールへ出張
 - ・国際交流フェスティバル in Maruko 実行委員会に出席
 - ・農業指導のため土屋興亜農業指導員をネパールに派遣
 - ・国際交流フェスティバル in Maruko に参加(長野県)
 - 10月
 - ・グローバルフェスタ参加(東京都)
 - ・国際交流フェスティバル in Saku に参加(長野県)
 - ・ウツタム・タバさん(バシファント学校卒業生)が事務所訪問
 - 11月
 - ・内閣府に新公益法人移行申請書を提出
 - 12月
 - ・機関紙38号企画・編集
 - ・長野県に法人概況調査を提出
- バザーをありがとうございました。
 ・グローバルフェスタ(日比谷公園)
 ・国際交流フェスティバル(長野県上田市)
 ・あーすの会(長野県佐久市)
 ・国際交流フェスティバル(長野県佐久市)

ジャイチネパール▼

- 7月
 - ・レカリ・バシファント学校、カカニ・ブライター学校共、定期試験を行う。
 - ・レカリ・バシファント学校は、7月7日から8月14日まで、カカニ・ブライター学校は、7月25日から8月13日まで夏休みにはいる。その間、様々な保守作業を行う。
- 8月
 - ・旧レカリ小学校の屋根の修理をユネスコの助成、SMCC、ジャイチの資金により、屋根等の修理を行う。
 - ・カカニ・ブライター学校では、学校内の植栽活動を行う。
- 9月
 - ・レカリ・バシファント学校、カカニ・ブライター学校共、ダサイン休暇にはいる。
 - ・日本より農業指導のため土屋農業指導員が、総合指導に島田常務理事が、来訪。
 - ・ジャイチネパールの決算が終了した。
- 10月
 - ・レカリ・バシファント学校、13日から16日までティハール祭の為、休校。
 - ・カカニ・ブライター学校では、文化体育祭を行い、その後ティハール祭の休校にはいる。
- 11月
 - ・レカリ・バシファント学校のSMCCでは、新しい会長を選出した。
 - ・カカニ・ブライター学校では、先生・PTAから現在の幼稚園を3クラスに、7、8年制への希望が強く出された。
- 12月
 - ・計画停電時間が、週16時間で実施される。
 - ・レカリ・バシファント学校では、建物のペンキ塗装等の保守作業を行う。
 - ・レカリ・バシファント学校、カカニ・ブライター学校共、定期試験を行う。
 - ・カカニ・ブライター学校では、カカニ地区のダンスの大会で優勝した。
 - ・計画停電時間が、週16時間から週24時間に変更実施される。

里親だより

小林みよ子・鎌田はなよ



▲ネパールで里子の家族と面会
写真左からエルザミンさん、鎌田さん、兄妹のお父さん、小林さん、イエンバルくん

Meeting with the family of foster child in Nepal. It is a pleasure to meet with the foster child in Nepal. (Photo: from left Ms. Yalzamin Rai, Mrs. Kamata, Father Mr. Kalyan Rai, Mrs. Kobayashi and Mr. Yalambar Rai).

イエンバル君と初めて会ったのは、十年も前の事でした。シンパンジャンの校庭をチョコチョコと歩いてきた女の子で、私達二人はマスコットと勝手に名をつけてかわいがっていました。何しろ一年に一度ないし二度しか会えなかったもので、急に大きくなった男の子と判ってビックリ、大笑いしました。

その後、一年生に入学し心身ともに立派な男子生徒に成長しました。二年後には、妹のエルザミンも入学し、二〇〇五年から私達二人はこの兄妹の里親になり早くも五年がたちます。訳あって父親と三人暮らしですが、二人とも家事の手伝いもきちんとし、勉強にも力を入れ成績も上位にいるというところでこれからとても楽しみです。

「JAIT-ネパールの農場と学校訪問の旅」
募集予告

- ・日程 十一月中旬
- ・費用 八泊十日の予定 二十六万円を予定
- ・最小催行人員 十名
- ・主催(株)西遊旅行
- ・企画 ジャイチ

ネパールの治安状況・新型インフルエンザ等の影響で中止になることもあります。

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。

- 安藤俊治様 ○九年一月(東京都文京区)
- 中嶋よし子様 ○九年十一月(東京都文京区)
- 有田利光様 ○九年(東京都文京区)
- 小林 興様 ○九年(東京都東村山市)
- 田村孝嘉様 ○九年(長野県上田市)
- 青木昌平様 ○九年十二月(長野県松本市)
- 船田敏夫様 ○九年(長野県上田市)



▲ダウラギリ 8167m

その後の、一年生に入学し心身ともに立派な男子生徒に成長しました。二年後には、妹のエルザミンも入学し、二〇〇五年から私達二人はこの兄妹の里親になり早くも五年がたちます。訳あって父親と三人暮らしですが、二人とも家事の手伝いもきちんとし、勉強にも力を入れ成績も上位にいるというところでこれからとても楽しみです。

日本語
ポランティア
募集

ジャイチの学校の生徒にポランティアで日本語を教えて頂ける方をお願いしています。特に先生と保護者からの強い希望です。詳細は事務局まで。

◆お願い

●ネパールへの荷物運搬(主に学校のカバン・文房具)のお手伝いしてください。方ご連絡ください。集めています。

- 古切手回りを5mm残してください
- 書き損じハガキ(年賀状も可)
- 毛糸
- カバン用布

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。今年のネパールは、雨期の季節が大幅に遅れ、粉を蒔いても干ばつのため地域によっては、全滅とのことでした。また電力は、百分水力発電ですが、水不足のため、すでに計画停電が長時間にわたって行われています。

世界的な温暖化の影響は、日本においても、待ったなしの状況かもしれません。(島田)